

活動報告書

団体名	特定非営利活動法人 セーフティネットワークおおさか
事業名	ひきこもり支援事業
事業実績の概要 (月日、参加者数等)	<ol style="list-style-type: none"> 1, 相談者の情報 2, 関係機関との連携 3, 居場所の開催 <p>☆上記の資料を別紙で添付します。</p>
事業の効果	<p>◇「ひきこもり支援」について、市民の理解者が確実に増えてきた。。</p> <p>◇相談者本人や家族との方々と数回の相談を重ねることでバイトや社会復帰のために市役所などへの同行訪問が増えてきた。</p> <p>◇地域の区長さんや包括などの関係機関からの相談が増加してきた。</p>
参加者からの声	<p>◇「ひきこもり支援」事業を行っていることを知らなかった。</p> <p>◇相談者家族の方々の負担が軽減した。</p> <p>◇窓口となる事務所の設置や常設での相談場所の設置を要望された。。</p>
今後の課題点、改善点等	<p>◇「ひきこもり支援事業」が多く市民の理解が得られるようにする。</p> <p>◇相談に関する関係機関や相談員の皆様にこの事業の認知度高めていく。</p>
今後の展望	<p>◇「ひきこもり支援」はセーフティネットワークおおさかに相談すれば安心だとの信頼を勝ち取りたい。</p> <p>◇行政や就労支援の関係者機関との連携をさらに強めていきたい。</p>
事業の自立に向けた計画	<p>◇四條畷市民の「ひきこもり支援事業」に対する必要性を高めながら、不登校対策も含めた社会的な問題として、最優先に取り組まなければならない課題を理解していただく。同時に、国や大阪府などの関係機関からの支援事業としての予算化の実現を目指し、「ひきこもり支援事業」を四條畷市の単独事業として、民間力や民間のネットワークを活用した『四條畷市アウトリーチ支援業務』として事業展開されますことを望みます。</p>